

(4) カリキュラムの紹介

【アジア・ハイスクール・サミット2022】



「戦争はなくせるか一次世代がつくる平和への道しるべ」

(Can War be Abolished? —A New Milestone for Peacemaking)

リーダー塾では、2週間を通して、高校生が議論する「アジア・ハイスクール・サミット」というプロジェクト型の取り組みを行っています。塾期間を通して、決まったテーマのもとで塾生同士、徹底的に議論をして政策を打ち出します。解決することが難しい社会課題に挑戦して、やがて近い将来、リーダーになったときにどう課題に取り組み、解決できるか高校生のうちから経験するのが狙いです。

今年のテーマは「戦争はなくせるか一次世代がつくる平和への道しるべ」です。今年2月、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が始まり、国際情勢の緊張が一気に高まりました。核兵器の使用すらちらつかせるプーチン政権の姿勢に対し、国連総会では非難決議が採択され、日本を含め各国がロシアに対する制裁を強めていきました。また、反戦・平和を求める運動が、世界各地で展開されています。

ウクライナだけではなくありません。ミャンマーは昨年2月のクーデターの後、弾圧によりすでに1700人以上が命を落としています。このほか、シリア、アフガニスタン、イエメン、リビアなど世界各地では内戦が繰り広げられ、青少年や子どもまでもが銃を取って戦っています。内戦はなかなか事実が明るみに出ないので悲惨です。

日本は戦後77年、平和を享受してきましたが、唯一の被爆国となって多くの犠牲者が出たことを知らない若い人たちも出てきました。日本人が加害者にも被害者にもなったアジア・太平洋戦争。あの戦争を経験し、当時の記憶を直接語る人々の数はどんどん減っています。宿題として塾生は「アジア・太平洋戦争と日本」と「戦後の国際社会と日本」に関する本をそれぞれ1冊ずつ自分で選び、読むことができます。

グローバル化・情報化が進む現代、政府が主導する国家間の協力だけでなく、市民間の協力や支援がこれまで以上に大きな意味を持ってきました。塾生には柔軟な発想で国際的な平和構築に向けた方策を導き引き出してもらいます。

【スケジュール】

- ・7クラス（1クラス20人）に分かれて2週間かけて議論（カリキュラム参照）
（協賛企業などから派遣のクラス担任と大学生のボランティアがサポート）
- ・8月5日 16時—18時 九州・山口に滞在の高校・大学留学生と議論
（ミャンマーからの立命館アジア太平洋大学生による発表後7クラスで議論）
- ・8月6日 9時半から約3時間 最終発表、投票して最優秀賞など決定
- ・8月7日 10時半 マハティール元首相の前で発表
11時—12時半 マハティール元首相講義と質疑応答

【AFS 高校留学生交流】

全世界の高校生を対象とした交換留学団体（公財）AFS 日本協会では約1年間、日本の高校で学んでいる高校留学生たちとディスカッションをします。参加留学生は、日本政府奨学金「アジア高校生架け橋プロジェクト」（20カ国約250人が全国に留学）で九州・山口に来日中の高校生とアメリカやヨーロッパからの留学生です。また、「アジア架け橋生」として2020年に来日し、21年2月に起こったクーデターで3月に帰国できなくなり、そのまま1年留学が延長され、今春から立命館アジア太平洋大学に進学したミャンマー生5人も参加します。クラスごとに塾生と「アジア・ハイスクール・サミット」で議論している戦争と平和の問題をディスカッションします。留学生には各国や地域の現状も話してもらいます。

【書禅】

「書禅」とは、リーダー塾で生まれた造語です。朝、頭がすっきりしているときに、昨日のことを思い浮かべながら、今日一日、どう過ごしていくのかを考えて、原稿用紙にその思いを書く時間です。タイトルはその日の朝に伝えます。書いて整理することはとても大切なことです。書くことを習慣づけましょう。

【キャリア教育】

各クラスの担任は、企業や大学などで働くフロントランナーの社会人。いかにキャリアを積み重ねてきたかを話していただいた上で、塾生が今後、大学から社会人となるために、その心構えを考えていきたいと思います。

【目標宣言】

2週間のリーダー塾を通して、自分の将来について考えることはできましたか。各界の第一人者による講師の講義を聞いて、質問をぶつけて、自分の進むべき道が少しは見えてきましたか。これから、皆さんが歩む道は決して、平坦ではありません。地球規模で解決しないとイケない課題は山積しています。コロナ禍で分かったように、想定外のことがたくさん起きるでしょう。そんな中、リーダーとして、自分のことだけでなく、人々のために尽くさないといけません。皆さんは今、思い立てば何でもでき、将来への大きな扉は開いています。目標宣言では、ひとり1分、将来への夢を塾生の前で宣言してもらいたいと思います。人の前で話すことで、やらないといけないと自分に言い聞かせることで、勇気が出ます。まさに「有言実行」です。どうか、今日、宣言したことを後でテキストの最後のページに書いておいてください。そして、5年後、10年後、20年後・・・と人生の節目で読み返してください。新しい夢を常に追いかけてほしい。好奇心をいつまでも持ち続けて、ワクワクドキドキした人生を送ってほしいと思います。